



CAMBODIA ATTRACTS \$443 MILLION IN NEW FDI

Key sectors drawing investment include manufacturing, agriculture, and real estate, with investors primarily from China, South Korea, and Thailand. The government is also working to improve investment policies to attract further FDI, aiming to stimulate economic growth and create job opportunities.



GOLDEN CAMBODIA CENTURY

GC Orussey Market 10月 建設進捗報告

今年のカンボジアは、10月に入っても例年にないほどの降雨が続いており、作業に支障をきたしておりますが、一日でも早く問題を克服し、竣工に向けて全力を尽くしております。



タイムスクエア8プロジェクトの正式オープン、誠におめでとうございます。
この度、「タイムスクエア8」の公式ローンチに参画できましたこと、GCリアルティ一
同大変光栄に存じます。
タイムスクエアのプロジェクトがさらに発展し、ご成功を収められることを心よりお祈
り申し上げます。





La Vista One 10月 建設進捗報告



A棟

- 7～41階の外壁塗装が100%完了いたしました
- エレベーターT1/T3の設置が完了いたしました
- 7～41階のバルコニーガラス手すりの設置が85%完了いたしました
- 7～41階の外部窓の設置が100%完了いたしました
- 27階のモックアップフロアの内装が100%完了いたしました
- 42階のカーテンウォール設置が100%完了いたしました

B棟

- 7～41階の外壁塗装が100%完了いたしました
- 9～38階の防火システムが100%完了いたしました
- 7～41階のスライドドア設置が100%完了いたしました
- 9～38階のエアコン設置が100%完了いたしました
- 8～38階のタイル設置が100%完了いたしました
- 9～21階のエントランスドア設置が100%完了いたしました
- 9～21階のキャビネット設置が85%完了いたしました







CAMBODIA
MY 2ND HOME

Latest Information

2024 11 8

クメール・ホームチャリティ協会、米国領事館ユース協会と共に若者支援活動を実施
クメール・ホームチャリティ協会は、米国領事館ユース協会の若者向け活動を支援し、多様な背景を持つ若者が集まるイベントを開催しました。チームビルディングやリーダーシップ開発、文化交流を通じて、参加者たちは互いの理解を深め、友情を育むと同時に、未来への意欲と希望を高めました。今回の活動により、若者たちは新たな知識とスキルを習得し、自らの進むべき道を見つけるきっかけとなりました。





CAMBODIA

LATEST INFORMATION

2024 10 28

政府が2025年予算支出を93億ドルに削減



出典：[Govt cuts 2025 budget expenditure to \\$9.3 billion](#)

カンボジア王国政府は、2025年度予算案を約379億5,000万リエル（93億2,000万ドル）に設定し、国内総生産（GDP）の18.14%を占める見込みです。この予算は組織能力や人的資本の開発、インフラ維持、経済多様化を重視しています。2025年の経済成長率は6.3%と予測され、GDPは約209兆1630億リエル（約513億9000万ドル）、1人当たりの所得は2,924ドルに達する見込みです。地政学的な不確実性を考慮して策定され、国会での承認後に国王の承認を得る予定です。

2024 10 25

日本のIT大手、カンボジアに5Gネットワークを敷設



出典：[Japanese IT giants to lay 5G network expansion in Cambodia](#)

日本企業のNTTドコモと日本電気は、カンボジアで無線ネットワークを構築するために提携し、将来の5G導入に向けた基盤を整えました。合弁会社のOrex Saiは、2025年3月までにカンボジアの商業施設で4Gネットワークを立ち上げる計画です。このパートナーシップは、東南アジアのハイテク業界におけるカンボジアの地位向上への一歩であり、農村部の消費者や企業にとって信頼性の高い高速インターネットへのアクセスを改善することを目的としています。5Gへの移行は、デジタル経済におけるカンボジアの競争力にとって極めて重要です。

2024 10 25

カンボジアとタイの貿易額が1～9月で30億ドルを超える



出典：[Cambodia-Thailand trade exceeds \\$3 billion from January to September](#)

カンボジアの第4位の貿易相手国はタイで、2023年1月から9月までの2国間貿易額は31億6900万ドルに達しました。カンボジアはタイに6億4,550万ドルを輸出したが、輸入は25億2,300万ドルに急増しました。この不均衡はカンボジアの貿易赤字につながりました。9月の貿易額は3億8,168万ドルに達し、輸出は55.9%増、輸入は34%増でした。

2024 10 25

カンボジア、4億4300万ドルの新規直接投資を誘致



カンボジアは2024年9月に4億4,300万ドル相当の外国直接投資（FDI）を誘致し、地元の人々のために2万5,000人の雇用を創出しました。カンボジア開発評議会（CDC）は、同月中に28の新規投資プロジェクトを登録し、2024年上半期には190のプロジェクトが登録され、169,000の雇用を創出しました。最初の9ヶ月間で、CDCは315の固定資産投資プロジェクトを承認し、総額は53億ドルに達しました。カンボジアの投資に対して親密な法律と平和と政治的安定がFDIフローに貢献しています。

出典：[Cambodia attracts \\$443 million in new FDI](#)

2024 10 24

カンボジアの2024年1～9月の外国人観光客数は480万人を記録しました



カンボジアは2024年の最初の9か月で480万の外国人観光客を受け入れ、昨年から22%増加しました。この数字は2019年の99.7%に相当します。主要な観光客はタイで、次いでベトナム、中国、ラオス、アメリカが続きます。観光省によれば、カンボジアは文化的・生態的な観光地であり、アンコール遺跡群などの世界遺産があります。観光はカンボジア経済の重要な柱で、2023年には545万の観光客が訪れ、30.8億ドルの収益を上げました。

出典：[Cambodia records 4.8 million international tourists in first 9 months of 2024](#)

2024 10 24

カンボジアのクリーン・エネルギー転換の加速を支援する覚書



カンボジアの鉱山エネルギー省は、クリーンエネルギー転換を加速するためエネルギーラボ・カンボジアと覚書を締結しました。これにより、再生可能エネルギーの安全で効率的な導入を支援します。急速な経済成長や気候変動への対応として、再生可能エネルギーの開発が優先されています。

「電力開発計画（PDP）2022-2040」では、2022年の太陽光発電能力432MWを2040年までに3,155MWに増加させる目標があります。しかし、制度的能力や規制が不足しており、エネルギー転換は他分野に浸透していません。アジア開発銀行が承認したプロジェクトでは、再生可能エネルギーを25%増加させる目標があります。

出典：[MoU to help Cambodia fast-track clean energy transition](#)

2024 10 22

オーストラリアがカンボジアのLDC脱却の支援



オーストラリアはカンボジアの最貧国（LDC）脱却を支援するための協力を約束しました。フン・マネット首相と新任オーストラリア大使ダレック・イップの会談で、この支援が確認されました。

イップ大使は2029年までのLDC脱却を支援し、持続可能な経済発展を促進する「五角戦略」を支持しました。両者は経済や教育など多分野での協力強化について話し合い、オーストラリア政府からの支援がカンボジアの発展に寄与していることが強調されました。

出典：[Australia to back Cambodia's transition from LDC status \(VIDEO\)](#)

2024 10 21

カンボジアの経済展望、今後の方向性



カンボジア開発評議会によると、カンボジアは世界の投資家にとって人気のある投資先となっており、2024年の最初の9ヶ月間で315件の固定資産投資プロジェクト（52.8億ドル相当）が誘致されました。進化する投資環境とカンボジア王室政府（RGC）は、外部からの課題に対処しながら経済成長を維持するために政策を変えています。フン・マネット首相の「五角形戦略」は、カンボジアを2030年までに中所得国に、2050年までに高所得国に変革することを目指しています。

出典：[An early look at how Cambodia's economic vision is shaping up](#)

2024 10 18

オーストラリア、貿易・投資分野でカンボジアとの協力強化



オーストラリアの駐カンボジア大使であるダレック・イップ大使は、オーストラリアはカンボジアとの貿易・投資協力の強化に尽力していくと述べました。サン・チャンソル副首相との会談で、ダレック大使はカンボジアのインフラ開発計画に関心を示し、オーストラリア企業が将来の建設プロジェクトに貢献することを宣言しました。チャンソル副首相はまた、カンボジアの投資機会、恵まれた環境、CDC投資プロジェクト管理技術システムを強調しました。

出典：[Australia to increase cooperation with Cambodia in trade, investment sectors](#)

2024 10 18

カンボジアとベトナムの貿易額、9ヶ月で58億ドルを突破



出典：Cambodia-Vietnam trade crosses \$5.8B in 9 months

カンボジアとベトナムの貿易額は2023年の47.7億ドルから21.9%増加し、カンボジアはベトナムに27.2億ドルを輸出し、ベトナムから30.9億ドルをカンボジアに輸入しています。カンボジアの主な輸出品は米、ゴム、カシューナッツ、キャッサバ、トウモロコシ、バナナ、マンゴー、タバコなどで、ベトナムは建設資材、機械、燃料、肥料などを輸入しています。この成長は、カンボジア農産物の競争力向上と両国間の貿易関係強化を反映しています。カンボジアとベトナムは2024年末までに貿易額が100億ドルを超え、将来的には200億ドルを目指しています。

2024 10 17

米国企業がカンボジアの民間航空産業に関心を持つ



出典：U.S. Firm interested in Cambodia's civil aviation industry

アメリカの航空機会社ガルフストリーム・エアロスペース・コーポレーションは、カンボジアの航空産業に関心を示し、あらゆる分野におけるカンボジアの急速な発展を強調しました。ガルフストリームはプライベートジェット・サービスを中心に、カンボジアの航空発展に貢献し、コネクティビティと観光の拡大を目指すとのことです。カンボジアのフン・マネット首相は、ガルフストリームの関心を歓迎し、カンボジアの経済成長と勢いは良い機会であると述べました。

2024 10 17

TBSがカンボジアのプロモーションビデオを制作



出典：Japanese firm to produce promotional videos on Kingdom

東京放送ホールディングス（TBSホールディングス）は、カンボジアの遺産、歴史、自然観光地、伝統文化、料理、特産品などを紹介するプロモーションビデオを制作し、日本国民のカンボジアへの認知度を高め、より多くの観光客を誘致することに関心をもちました。このプロジェクトは、観光省と日本カンボジア協会、ソキメックスグループとTBSホールディングスの会合で話し合われた。目的は、カンボジアの認知度を広げ、カンボジアへの投資を促進することです。

2024 10 16

カンボジア、戴冠式20周年を記念して20万リエル紙幣を発行



カンボジア王国政府は、ノロドム・シハモニ国王の即位20周年を記念して、20万リエル（約50米ドル）の新紙幣を発行する政令を公布した。縦170mm、横76mmの記念紙幣は、表面に国王と王妃の肖像、裏面にシェムリアップ州のバイヨン寺院の写真が描かれています。

出典：[Cambodia Issues 200,000 Riel Banknote to Mark 20-Year Anniversary of Coronation Day](#)

2024 10 16

首相、2050年までにカンボジアを高所得国にする戦略を発表



カンボジアのフン・マネット首相は、2030年までに中所得国、2050年までに高所得国への転換を目指し、経済・貿易の発展を促進するための5つの提言を行った。これらには、農業輸出の多様化、海外市場へのアクセスの拡大、相互接続されたインフラの開発、デジタルトランスフォーメーションの実施、2029年までに後発開発途上国から脱却するための準備などが含まれています。

出典：[PM spells out strategies to make Cambodia high-income by 2050](#)

2024 10 16

日本企業がコンポントム州にカシューナッツ加工工場の設立を検討中



日本のMIRARTHグリーンテック社は、カンボジアのコンポントム州に、カシューナッツの加工と殻から油を抽出するための大規模な工場を2つ建設する予定です。カンボジア・カシューナッツ協会（CAC）のウオン・シロット会長は、3年後の計画を確認しました。Mirarthグリーンテック社は、カシューナッツの殻から液体とエキスを抽出する最先端技術を開発します。また、コンポントム工科大学の学生インターンシップ提供します。

出典：[Japanese firm mulls to set up cashew nut processing factories in K Thom](#)

2024 10 15

ラオスで開催されたASEAN首脳会議で、フン・マネット首相が米の輸出拡大に向けて各国首脳と会談



カンボジアのフン・マネット首相は、ラオスで開催されたASEAN首脳会議で各国の首相たちと会談し、米の輸出を促進した。彼は一貫したフォローアップの重要性を強調しました。また、市場の需要に応えるために農家に対し、質の向上を促した。カンボジア米連盟によると、2024年の最初の3四半期で445,913トンの米が輸出され、約3億3500万ドルの収益を上げたとのこと。

出典：PM Hun Manet meets world leaders at the ASEAN Summit in Laos to boost rice exports

2024 10 15

モンドルキリ州の水処理、生産性が50%以上向上



日本とカンボジア王国政府は、センモノロム町に小規模水処理施設を完成させ、給水能力を50%以上向上させました。この施設は156,150ドルで、カンボジアで給水システムを建設するために草の根技術開発事業が資金を提供した最初のプロジェクトである。日本はカンボジアの水道インフラ建設に3億ドルの無償資金協力と2億ドルの譲許的資金援助を行っています。

出典：Water treatment in Mondulkiri increases over 50% productivity

2024 10 14

カンボジアの農業に関して、コロナ後の回復と成長の可能性



カンボジアの農業セクターは、COVID-19の影響にもかかわらず、強い成長を見せています。2024年の農産物輸出は613万トンに達し、収入は28.5億ドルに上昇しました。農業は労働力の49%を雇用し、GDPの22%を占めています。カンボジアはカシューナッツの大生産国ですが、ほとんどの加工は海外で行われています。国内での加工能力を高める努力が進められています。課題として、高い電気料金や冷蔵設備の不足がありますが、有機農産物の生産など、農業の将来には大きな期待が寄せられています。

出典：Can Cambodia become the breadbasket of the region?

2024 10 14

ソフィテル アンコール プーキートラー ゴルフ & スパ リゾートがアジアの トップ20リゾートに選ばれる



出典：[Sofitel Angkor Phokeethra Golf & Spa Resort named among Top 20 Resorts in Asia](#)

シェムリアップにあるソフィテルアンコールポケトラゴルフ&スパリゾートが、コンデナスト・トラベラー誌の「アジアのトップ20リゾート」第3位に選ばれました。この賞は、575,000人を超える米国の読者の投票によるもので、旅行分野における卓越性の象徴です。Haute Grandeur、Forbes Travel Guide、Travel+Leisure、World Luxury、DestinAsianなどの国際的なグループから100以上の賞を受賞しているこのリゾートは、238室の客室を持ち、アンコール・ワット寺院群の近くに位置しています。

2024 10 11

カンボジアとタイ、経済特区設立に向けた協議を実施



出典：[Cambodia, Thailand hold talks to set up SEZs](#)

カンボジアとタイは、経済特区の設立、人と人とのつながりの強化、観光の促進、二国間協力の強化について会談を行いました。ペートンターン・シナワット首相は、フン・マネット首相の最初の祝辞に感謝の意を表し、カンボジア・タイ関係の前向きな発展を高く評価しました。両首脳は、二国間メカニズム会議の再開、経済特区の実現可能性の検討、観光、防衛、安全保障における協力の強化を約束しました。

2024 10 10

米国、カンボジアの効果的な経済運営を称賛



出典：[US praises Cambodia's effective management of economy](#)

アメリカ合衆国財務省は、カンボジア政府の経済と公共財政の管理が効果的であると評価し、外部要因による不確実性に対する積極的な対応を称賛しました。この評価は、ロバート・カプロス米国副次官補とカンボジア米国大使館のブリジット・ウォーカー臨時代理大使がカンボジアを訪問した際に表明されました。今回の訪問は、カンボジアと米国の二国間協力を強化し、社会経済成長を促進することを目的としています。

2024 10 10

第17回カンボジア・輸出入商品展示会2024、年内に開幕



[出典：17th Cambodian and Import-Export Goods Exhibition 2024 to kick off by year-end](#)

カンボジア商務省は、2024年末までに第17回カンボジア・輸出入商品展示会2024を開催する予定で、250から300のブースを設け、カンボジア製品の輸出入を促進します。このイベントは12月13日から16日までプノンペンのPHグランドホールで開催され、デジタルトレードフォーラムやカンボジア・韓国産業協力フォーラムなどのイベントが行われます。第16回展示会は2023年12月に開催されました。

2024 10 09

首相、ASEAN首脳会議で経済統合について議論



[出典：PM to discuss economic integration at ASEAN Summit](#)

フン・マネット首相は、ラオスおよびベトナムの首相と、ASEAN域内協力の促進と経済統合の推進について協議しました。首相らは10月10日、ラサボン・ワンダ・ヴィスタ・ホテルで開催されるネットワーキング・ブレックファストに出席する。このセッションの目的は、ASEAN企業の地域開発イニシアティブへの参加と投資の拡大を奨励することにより、連結性を強化し、経済の回復力を促進し、民間部門に力を与えることです。

2024 10 08

商務省、LDC卒業後の貿易優遇措置確保に向けた課題を示す



[出典：MoC outlines tasks to secure trade preferences for post-LDC transition](#)

カンボジア商務省は、2029年に終了する後発開発途上国（LDC）からの移行期間中に有利な貿易優遇措置を確保するため、貿易相手国と交渉を行っています。同省は、既存の輸出市場の安定を確保し、カンボジア製品の新規市場へのアクセスを獲得することを目指しています。EUは、カンボジアのLDC状態からの脱却を支援することを約束し、カンボジア側と一般特惠関税制度プラス（GSP+）について話し合う用意があります。

2024 10 08

カンボジアと日本、移行資金の促進で合意



[出典：Cambodia, Japan agree to promote transition finance](#)

カンボジア王国政府と日本の金融庁は、東京で開催されたアジアハイレベル金融規制当局フォーラムにおいて、銀行監督におけるトランジション・ファイナンスについて議論を行いました。日本政府が主催したこのフォーラムは、持続可能な慣例と強靱な金融システムを促進することを目的としています。同フォーラムには、ASEAN 加盟国およびインドからも代表者が出席し、共通の課題に対処するため、アジアの金融規制当局間の協力強化を目指します。

2024 10 07

米国、カンボジアとの貿易協力強化で合意



[出典：US agrees to boost trade cooperation with Cambodia](#)

米国とカンボジア王国政府は、両国間の貿易・投資活動を促進することに合意しました。米国のダリープ・シン国家安全保障担当副補佐官は、副首相兼カンボジア開発評議会(CDC)の第一副議長であるスン・チャントール副首相と会談し、両国間の実りある協力とカンボジアへの投資機会について話し合いました。チャントール副首相はまた、米国国際開発金融公社のスコット・ネイサン最高経営責任者(CEO)とも会談し、投資機会を促進しました。

2024 10 05

カンボジアと米国、貿易・投資活動を通じて二国間関係と協力を強化へ



[出典：Cambodia, US to strengthen bilateral relations, cooperation through trade and investment activities](#)

カンボジア開発評議会(CDC)によると、カンボジアと米国は貿易・投資活動を通じて二国間関係を強化することを約束しました。カンボジア開発評議会(CDC)によると、CDCのスン・チャントール副首相と米国のダリープ・シン国家安全保障副顧問がワシントンDCで最近行った会談で、この約束がなされました。

2024 09 30

ダラ・サコール空港、技術飛行検査を開始



カンボジアのコッコン州ボトゥムサコール地区にあるダラサコール国際空港が、9月29日から30日の2日間、国内航空機の飛行試験を実施しました。このテストでは、航空機のチェックや航行装置、パイロットとの無線通信などが確認されました。航空当局のスポークスマンによれば、問題がなければ、11月末に国内の小型航空機の運航を開始できる見込みです。

出典：[Dara Sakor airport begins engineering flight inspections](#)

2024 09 28

日本の観光博：カンボジアにとってのマーケティング機会



カンボジア観光省は、ツーリズムEXPOジャパン2024開催期間中にカンボジアを訪れる日本人観光客が大幅に増加すると予測しています。9月26日から29日まで開催されるこのイベントには、18万人の来場者と国際企業が集まる見込みです。カンボジア観光省は、2024年の最初の7ヶ月間で日本人観光客が49%増加したと報告しています。

出典：[Tourism Expo in Japan: A Marketing Opportunity for Cambodia](#)

2024 09 28

カンボジアは、2030年までに電力安全保障とクリーンエネルギー強化のため、23のプロジェクトに58億ドルを投資します。



カンボジアは電力不足に対応するため、2024年から2029年にかけての電力セクターにおける23の新規投資プロジェクトを承認しました。プロジェクトには、太陽光発電12件、風力発電6件、ソーラーバイオマス発電1件、ガス火力発電1件、水力発電1件、エネルギー貯蔵施設2件が含まれる。投資総額は57億9000万米ドルと見積もられています。これらのプロジェクトは、バタンバン、プルサット、コンポンチュナン、ラタナキリ、モンドルキリ、シアヌークビル、コンポンチャム、プレイベンなどの州において、信頼できる安価な電力供給を確保し、エネルギー安全保障に貢献し、数万人の雇用を創出します。

出典：[Cambodia approves \\$5.79B investment in 23 Energy Projects to enhance power security and clean energy by 2030](#)

2024 09 28

CGJTA、カンボジアに宝石・宝飾研究研修所を設立へ



出典：[CGJTA to establish Gem and Jewelry Research and Training Institute in Cambodia](#)

カンボジア宝石宝飾品貿易協会（CGJTA）は、カンボジアに宝石宝飾品研究・研修機関を設立する予定であると、CGJTAのネット・スレイ・ウン会長が述べました。首相はカンボジアの宝石・宝飾セクターの振興におけるCGJTAの努力を賞賛し、研究所の設立と年2回のフェアを支持した。首相はまた、関連省庁との協力を促しました。

2024 09 27

アンコール遺跡の経験を生かすための新協定

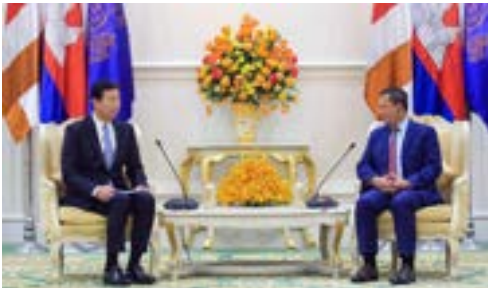


出典：[New MoU to bring alive Angkor experience](#)

アプサラ国家機関（ANA）は、没入型文化遺産体験を創出するため、イマーシブ・アンコールと覚書（MoU）を締結しました。このパートナーシップは、アンコールの国際的知名度を高め、王国の観光を後押しすることを目的としています。このパートナーシップは、インタラクティブな文化遺産を通じて遺産保護を強化し、科学的指導を提供し、文化的感受性を確保する取り組みをします。Immersive Angkorは博物館の開発と管理を行います。

2024 09 26

ホンダ、カンボジアでの製造投資拡大を発表



出典：[Honda eyes new investments in the Kingdom](#)

本田技研工業株式会社 本田技研工業株式会社（本社：東京都港区、社長：八郷隆弘、以下ホンダ）は、子会社であるN.C.X. Co. この決定は、ホンダの高官代表とフン・マネット首相との会談をした。ホンダは、カンボジア王国政府の支援と促進、特に「カンボジア産業開発政策2015-2025」と現地の職業訓練プログラムを賞賛しました。本田社は、政府の開発戦略や政策に沿うことを約束しました。

2024 09 26

EUへの輸出が16%増加



出典：[Exports to EU up 16 percent](#)

商務省の報告によると、カンボジアの欧州連合（EU）への輸出が急増し、2024年の最初の8ヶ月間で29億ドルに達した。双方向貿易は9.62%増の35億ドルに達した。カンボジアの最大の貿易相手国はスペインとドイツで、二国間貿易額はそれぞれ7億600万ドルと6億9200万ドルである。EBA（Everything but Arms）制度はカンボジアの輸出にとって極めて重要です。

2024 09 25

カンボジアの対日輸出、8ヶ月で20%急増



出典：[Cambodia's exports to Japan surge 20% in 8 months](#)

カンボジアの対日輸出は、今年最初の8ヶ月で20%増加し、9億2400万ドルに達しました。これにより、日本はカンボジアの輸出市場の5.3%を占め、第4位の輸出先となった。カンボジアの対日貿易は、最初の8ヶ月で14億ドルに達し、前年同期比16.9%増加した。カンボジアの主な輸出品目は、衣料品、バッグ、履物、家具、化粧品、紙・事務用品、皮革製品などであり、輸入品目は、機械、自動車、電子製品、家具、繊維、プラスチックなどです。両国は外交関係70周年を迎え、包括的戦略的パートナーシップを強化し、日本からの投資を促進しています。

株式会社GCCジャパン
〒107-0062 東京都港区南青山2-23-8
外苑ビル8階
TEL:03-5927-1882
E-mail: central@gccjapan.co.jp

